

龍谷大学大宮学舎140周年記念シンポジウム

かたりのチカラ

参加無料
事前申込制
定員400名

—社会を結びほぐす人文学の可能性—

1879(明治12)年に西本願寺の大教校として建てられた龍谷大学大宮学舎は、今年で140周年を迎えました。これを記念し、人文知の可能性や文学部での学びの魅力を探るシンポジウムを開催します。



日時 2019年12月22日(日) 14:00~16:30 (13:30開場)

会場 龍谷大学大宮学舎東翼 1階101教室
(京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1)

●第1部 トークセッション

「歴史の語りかた、物語の読みかた」

澤田瞳子さん 作家 〈聞き手〉安藤 徹 龍谷大学文学部長 日本語日本文学科教授

●第2部 パネルディスカッション

「社会を結びほぐす人文学」

〈パネリスト〉澤田瞳子さん 兼松佳宏さん 勉強家/京都精華大学人文学部特任講師

入澤 崇 龍谷大学学長 文学部仏教学科教授

〈進行〉安藤 徹

◎シンポジウム終了後、澤田瞳子さんのサイン会を開催。〈協力/大垣書店〉
当日、会場で販売する書籍が対象。聴講券と当日配布する整理券が必要です。



澤田瞳子さん



兼松佳宏さん



入澤 崇



安藤 徹

【龍谷大学大宮学舎】龍谷大学の歴史は1639(寛永16)年に西本願寺に設けられた「学寮」に始まります。現在の大宮学舎は、1879(明治12)年に大教校として竣工。講堂として建てられた本館、寄宿舎だった北翼、南翼と旧守衛所、正門が国の重要文化財に指定されています。

主催/龍谷大学文学部、京都新聞 後援/京都市下京区、京都市教育委員会
協賛/龍谷学会、龍谷大学校友会、龍谷大学文学部・短期大学部同窓会、龍谷大学親和会

380
YEARS
ANNIVERSARY
大宮学舎は140周年



140th
下京区誕生140周年

